

議員提出議案第 8 号

議案第 60 号令和 5 年度(2023 年度)朝霞市一般会計歳入歳出決算認定についてに対する附帯決議

上記の議案を朝霞市議会会議規則第 14 条の規定により、別紙のとおり提出する。

令和 6 年 9 月 27 日提出

提出者	朝霞市議会議員	田 原 亮
賛成者	朝霞市議会議員	福 川 鷹 子
賛成者	朝霞市議会議員	小 池 貴 訓
賛成者	朝霞市議会議員	兼 本 尚 昌
賛成者	朝霞市議会議員	高 堀 亮太郎
賛成者	朝霞市議会議員	渡 部 竜 二
賛成者	朝霞市議会議員	西 明
賛成者	朝霞市議会議員	飯 倉 一 樹

朝霞市議会議長 様

議案第 60 号令和 5 年度(2023 年度)朝霞市一般会計歳入歳出決算認定についてに対する附帯決議

令和 5 年度(2023 年度)の決算認定に当たり、下記のとおり、将来的な支出に備えた計画的で持続可能な財政運営を求める。

記

1. 財政規律と中・長期的な財政計画の策定

令和 5 年度は、実質単年度収支が過去最大のマイナス 15 億円強という赤字決算となり、財政規律の側面から中・長期的な視点での課題を残す結果となった。

朝霞市公共施設等マネジメント実施計画を始めとする各行政計画に定めた事業を着実に実施していくため、その財政的な裏付けや実効性を担保するための中・長期的な財政計画の策定は不可欠である。同様に、突発的な修繕・改修工事についても、維持管理の側面から先手の対応を計画的に行うことが望ましく、各公共施設の経年劣化を踏まえて将来の支出を具体的かつ適切に予測することが必要である。

また、朝霞和光資源循環組合におけるごみ広域処理施設や朝霞地区4市共用火葬場の建設など、今後財政的負担を伴う大規模な事業が控えている。国などの補助を最大限活用することは当然だが、自律的かつ持続可能な財政運営を行っていくため、的確な目標設定による中・長期的な財政計画の策定を求める。

以上、決議する。

令和 6 年 9 月 27 日

朝霞市議会議長 岡崎 和広